

平成26年10月24日

会員 各位
理事・監事 各位
各県養鶏協会 各位

一般社団法人日本養鶏協会
〔事務局〕

畜産収益力強化対策(旧リース事業を含む)事業についてのお知らせと事業参加に向けた情報提供

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会の事業運営につきましては、日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、これまで多数のご参加をいただいております「畜産収益力向上緊急支援リース事業」につきましては、当該事業を含めて平成27年度の新規事業として内容が大きく変更されることが見込まれております。

現在、国が新たに進めている事業の仕組みの要点は、特に地域における生産者が積極的、主体的かつ重点的な事業取組みを行うとともに、新年度当初からの速やかな事業実施が可能であることが重要となります。このため特に事業の早期執行が求められることから、本会事務局なりの理解の下に取急ぎその概要を予め以下の通りご案内させていただきます。

1. 本事業の参加者は、自社を含めた3者以上による「畜産クラスター協議会」の構成員となり、その協議会が定める「畜産クラスター計画」の中で中心的な経営体と位置づけられる必要があること。
2. 畜産クラスター計画は各県の認定を受ける必要があること。
3. 補助対象には、家畜飼養管理施設（鶏舎、飼料庫、飼料タンク等）の整備、機械のリース整備に対し、1/2補助の高率補助となること。

従って、例えば環境対策で承認を受けようとする場合には、地方公共団体・農協、畜産環境アドバイザー等により3者以上で、また飼料米利用協議会で承認を受けようとする場合には、鶏卵生産者・稲作生産者と県団体・農協等により3者以上でクラスターを構成することが必要となります。

つきましては、関係する事業関係資料を送付致しますので、事業に参加を希望・検討される方は早急に県畜産部局の担当官と連携をとられ、情報収集ならびに事業内容の検討を進められるようお願いいたします。

ご意見がございましたら、本協会までお寄せ下さいますようお願いいたします。
敬具

【添付資料】

1. 予算概要PR版（1枚）
2. 畜産クラスター計画のイメージ（2枚）
3. 畜産クラスター優良事例（3枚）

畜産収益力強化対策 [新規]

【15,952(一)百万円】

対策のポイント

収益性の向上に必要な機械のリース整備や地域の中心的な畜産経営体等の施設整備を支援します。

<背景/課題>

- ・畜産業は、地域産業の核として必要不可欠な存在となっておりますが、配合飼料価格が高止まりする中、高齢化や離農が進み農家戸数や飼養頭数が減少するなど、生産基盤の弱体化が懸念されています。
- ・我が国畜産の競争力強化のため、収益性の向上を図る必要があることから、畜産経営における収益性の向上、飼料生産組織の経営高度化、新規参入に必要な機械のリース整備を支援するとともに、地域の中心的な畜産経営体等に対する家畜飼養管理施設の整備等を支援します。

政策目標

経営の効率化や収益性の向上による生産基盤の強化

<主な内容>

1. 畜産収益力強化支援事業

9,001(一)百万円

畜産経営における収益性の向上、飼料生産組織の経営高度化、新規参入に必要な機械のリース整備を支援します。

〔補助率：地域の中心的な畜産経営体1/2以内
それ以外1/3以内
事業実施主体：民間団体等〕

2. 畜産競争力強化整備事業

6,951(一)百万円

新規参入者、後継者など、畜産クラスター計画等に位置づけられた地域の中心的な畜産経営体等(1戸1法人を含む。)に対する家畜飼養管理施設の整備等を支援します。

〔補助率：1/2以内
事業実施主体：民間団体等〕

(関連対策)

強い農業づくり交付金

42,401(23,385)百万円の内数

高付加価値化や生産コストの低減など、産地の収益力強化や合理化を図る取組に必要な共同利用施設の整備を支援します。

〔交付率：都道府県への交付率は定額(事業実施主体へは事業費の1/2以内等)
事業実施主体：都道府県、市町村、農業者の組織する団体、事業協同組合等〕

[お問い合わせ先：生産局畜産企画課(03-3502-5979)]

別添

畜産クラスター計画のイメージ

(※: 以下の類型を組み合わせた取組も考えられます。)

	クラスター計画の類型	クラスターの取組(構造改革を伴う取組)	畜産クラスター構成員及び効果の例	計画に基づく施設整備
1	増頭体制の構築型	<ul style="list-style-type: none"> ○キャトルブリーディングステーション又は大規模一貫経営体への牛の預託 ○この預託に併せて、 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の繁殖農家が預託による畜舎の空きスペースを有効活用して増頭 ・増頭に伴う飼料増産のための飼料生産組織の高度化(受託組織) ○これらを実現するための <ul style="list-style-type: none"> ・受胎率向上、子牛の損耗防止のプロファイリング、効率的なワクチネーション等を実施 ・預託先と預託牛提供農家又は飼料生産組織とのマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者: ・JA、地方公共団体、獣医師、畜産試験場、飼料生産組織等 ○効果: ・繁殖拠点での受胎率の向上を通じた生産性向上 ・哺育育成での発育の斉一化による付加価値向上 ・飼料生産組織による自給飼料の生産拡大、飼料コストの低減 	キャトルステーション、大規模一貫経営の繁殖牛舎、哺育牛舎等
2	耕畜連携型 (特産物ブランド化)	<ul style="list-style-type: none"> ○耕種農家が畜産農家に規格外作物、食品の加工残さ等を提供 ○畜産農家は耕種農家に堆肥を提供 ○これらを実現するための耕種農家と畜産農家とのマッチング、地域の耕種特産物との地域統一ブランドの確立(堆肥、作物、肉) 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者: ・JA、地方公共団体、耕種農家等 ○効果: ・規格外作物等の有効活用による飼料コストの削減 ・堆肥の有効活用による収入の増大 ・地域統一ブランドの生産による販売額の上昇 	畜舎、堆肥処理施設、処理加工施設等
3	耕畜連携型 (飼料用米活用)	<ul style="list-style-type: none"> ○耕種農家が畜産農家に飼料用米を提供 ○畜産農家は耕種農家に堆肥を提供 ○これらを実現するための耕種農家と畜産農家とのマッチング ○飼料メーカーは、堆肥を多給した飼料用米を利用した配合飼料を製造し畜産農家に提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者: ・JA、地方公共団体、耕種農家、飼料メーカー等 ○効果: ・飼料用米利用による飼料コストの削減 ・堆肥の有効活用による収入の増大 ・地域統一ブランドの生産による販売額の上昇 	畜舎、飼料保管庫、堆肥処理施設、処理加工施設等

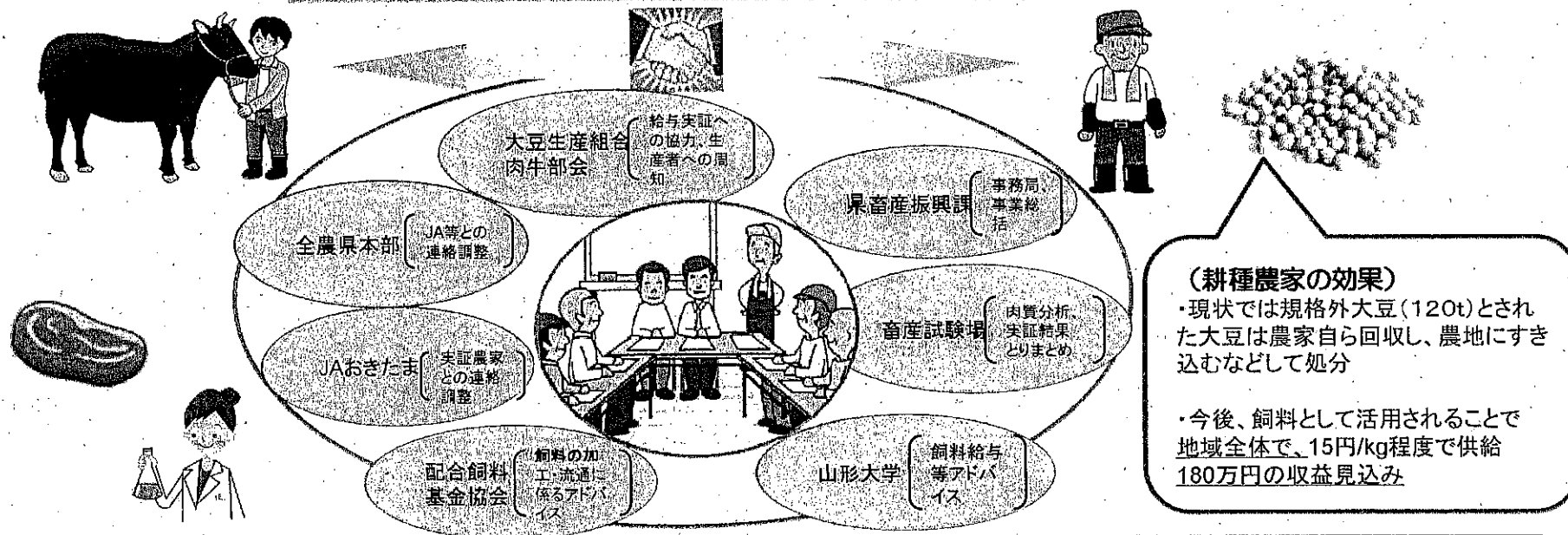
4	先進技術導入型	<ul style="list-style-type: none"> ○先進技術に対応した施設整備(搾乳ロボット対応牛舎改善等)の導入 ○新技術を体験するため研修システムを構築し、地域の畜産農家に新生産体系の技術を普及 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者: ・JA、地方公共団体、畜産試験場、研究機関、機械メーカー等 ○効果: ・新技術取得による地域畜産の生産性向上 ・省力化による労働コストの削減 	畜舎、先進機械
5	6次産業化型	<ul style="list-style-type: none"> ○畜産農家と地域の食肉加工センター等との連携による高付加価値な畜産物加工品の製造 ○地域の卸売業者や小売業者との連携による高付加価値な畜産物加工品の販売 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者: ・JA、地方公共団体、食肉加工センター、卸・小売等 ○効果: ・ブランド化と販路拡大による高付加価値化と需要創出 ・高品質な畜産物生産への意欲向上 	畜産物加工施設
6	新規就農・他地域からの移転促進型	<ul style="list-style-type: none"> ○離農農家や後継者不在農家の施設の補改修 ○新規就農者、地域環境問題を理由に移転した者へ <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー組合の利活用によるゆとりある就業環境の構築 ・コンサル等による技術、経営指導 を県単位(市町村単位、地域単位)で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者: ・JA、地方公共団体、畜産試験場、畜産コンサル、ヘルパー組合等 ○効果: ・新規就農者の定着、経営の安定 ・地域全体で生産量の増大、生産性向上 	畜舎等(補改修を含む)
7	環境対策型	<ul style="list-style-type: none"> ○悪臭低減、汚水処理等環境技術の活用による環境対策の実施 ○畜産環境アドバイザー等による <ul style="list-style-type: none"> ・環境対策の実施を支援、監視 ・環境対策に掛かる最適なコスト管理手法等の助言・指導 ○環境対策の実施とその効果の周辺住民への周知を通じて地域環境問題を解決 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者: ・JA、地方公共団体、畜産環境アドバイザー、公認会計士等 ○効果: ・最適な環境対策コストの削減 ・環境対策により、地域に根ざした産業の定着化、生産性向上 	ウインドレス畜舎、防臭、汚水処理施設、堆肥処理施設等

耕種農家も取り込んだ畜産クラスター事例① 山形県

山形県規格外大豆畜産利用協議会

規格外大豆を飼料として給与することで、肉質や脂質の良い牛肉ブランドを確立し、普及することにより付加価値向上とコスト低減を実現

規格外大豆を活用した肥育牛への給与実証



(耕種農家の効果)
 ・現状では規格外大豆(120t)とされた大豆は農家自ら回収し、農地にすき込むなどして処分
 ・今後、飼料として活用されることで地域全体で、15円/kg程度で供給
 180万円の収益見込み

(実証内容)
 ○肥育牛に加熱・発酵処理した規格外大豆をモデル的に給与し、肉質・脂肪等を分析・調査し、生産性・コスト低減効果を実証
 この結果を踏まえ、県内の肥育農家に規格外大豆の飼料利用を普及

(肥育農家の効果)
 ①付加価値の向上：
 肉質や脂質の良い牛肉ブランドとして付加価値を高めて販売
 ②飼料価格の低減：
 未利用資源の活用による飼料費のコスト低減

地域全体で、83 百万円の収益増
【地域の収益性向上】
 ○規格外大豆飼料給与1300頭 × (販売価格上昇5.2万円/頭 + 飼料費低減1.1万円/頭) = 8,190万円
 ○耕種農家の収益180万円

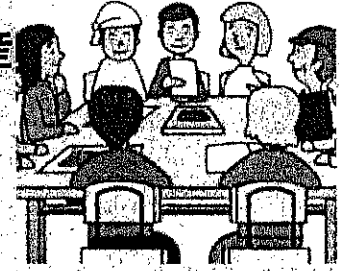
川上（生産者）から川下（小売業者）まで参加した畜産クラスター事例② 香川県

讃岐牛・オリーブ牛振興会

オリーブ飼料を給与したオリーブ牛の付加価値向上と販路拡大による収益力向上の実現

○讃岐牛・オリーブ牛振興会

- ・指定生産者(78戸)：繁殖・肥育地域内一貫生産
- ・JA香川県、県肉連：運管用務
- ・県畜産協会、県畜産課：企画・立案
- ・指定販売店(105店)
- ・指定料理店(60店)



【飼料製造業者・耕種農家】

○オリーブ飼料製造業者

- ・株東洋オリーブ
- ・株アグリオリーブ小豆島
- ・法美匠
- ・新規オリーブ飼料製造業者

○オリーブ農園
小豆島内
香川県内

供給

【獣医師・普及員・関係団体】

連携

【実証内容】

○牛肉の食味アンケート調査、肉質分析による美味しさ指標づくり、取組の広報等を実証
この結果を踏まえ、オリーブ飼料(オリーブ搾油後の果実を乾燥)を給与したオリーブ牛の品質向上と優良繁殖雌牛導入等により生産拡大

【効果】

- 【生産量の増大】
オリーブ牛認証頭数、1,450頭→2,400頭
- 【高付加価値化】
オリーブ認証牛として、付加価値を高めた販売
- 【販路拡大】
広報宣伝の強化

地域全体で、71百万円の収益増

【地域の収益性向上】
認証牛950頭(生産増) × 7.5万円/頭
=71百万円

地域の様々な関係者が連携、結集した畜産クラスター事例③ 北海道

天塩町営農対策協議会

地域に適した草地の植生改善手法を普及拡大させ、良質自給飼料の生産性向上による酪農・畜産経営の収益力向上を実現

